

令和３年第２回定例会（１２月議会） 産業観光委員会・分科会 提出資料

令和３年１２月１日
産 業 労 働 部

【補正予算関連】

産 業 政 策 課	自動車運転代行業継続支援金事業について……………	1
産 業 政 策 課	制度融資の拡充について……………	2
地 域 産 業 振 興 課	産業技術センター施設・設備整備費について……………	3
雇 用 労 働 政 策 課	職業能力開発支援事業について……………	4
公 営 企 業 課	令和３年度秋田県公営企業会計の 補正予算について……………	5

自動車運転代行業継続支援金事業について

産 業 政 策 課

1 目 的

新型コロナウイルス感染症の拡大により利用者が大幅に減少し、経営状況が悪化している自動車運転代行業者の事業継続を支援する。

2 概 要

自動車運転代行業者の事業継続を支援するため、随伴用車両保有台数に応じた支援金を交付する。

- ・ 対 象 者 令和3年12月1日時点で秋田県公安委員会の認定を受けている自動車運転代行業者
- ・ 対 象 者 数 250事業者（随伴用車両台数500台）
- ・ 補 助 額 1台当たり70千円

3 予算額

33,729千円

内 訳	〔・負担金補助及び交付金	33,670千円〕
	〔・需用費、役務費（事務費）	59千円〕

< 参 考 > 今後のスケジュール（予定）

- 12月27日（月）申請書類等の公表・申請受付開始
- 2月14日（月）申請受付終了

制度融資の拡充について

産業政策課

1 目 的

新型コロナウイルス感染症の影響で引き続き経営状況の厳しい県内中小企業者に対して、秋田県経営安定資金の新型コロナウイルス感染症対策枠及び危機関連枠を無利子無保証料とし、年度末に向けた資金繰りを支援する。

2 概 要

- ・対 象 者：直近1か月の実績及び2か月の売上高等の見込みが、前年同期に比べて5%以上減少している等の県内中小企業者（セーフティネット5号は5%以上、セーフティネット4号は20%以上、危機関連保証は15%以上）。
 - ・融 資 枠：300億円
 - ・限 度 額：新型コロナウイルス感染症対策枠及び危機関連枠 各8千万円
 - ・貸付利率：0.00%（当初3年間）4年目以降は1.15%又は1.35%
 - ・保証料率：0.00%（全期間補助）
 - ・貸付期間：10年以内（据置2年以内）
 - ・実施期間：令和4年1月1日～令和4年3月31日
- ※現行の新型コロナウイルス感染症対策枠及び危機関連枠に対して利子補給を行い、無利子・無保証料とする。

3 予算額

※債務負担行為額

1,125,000千円

《参考》新型コロナウイルス感染症対策に係る現在の支援策

	融資枠 (億円)	売上 減少	金利 (%)	保証料 (%)	貸付 期間 (年)	据置 期間 (年)	限度額 (万円)	その他 融資条件等
新型コロナウイルス感染症 対策枠	300	減少	1.35	0.35～ 1.40	10	2	8,000	
		20%以上 5%以上	1.15 1.35 ↓ 0.00	0.00				セーフティネット 4号 5号
危機関連枠		15%以上	1.15 ↓ 0.00	0.00	10	2	8,000	危機関連 保証

産業技術センター施設・設備整備費について

地域産業振興課

1 目 的

産業技術センターにおいて、新型コロナウイルス感染症対策に関連する技術開発や企業支援に必要となる施設・設備を整備する。

2 概 要

(1) コロナ対策等に対応する新技術や新製品の開発のための機器の導入

17,204千円

機器名称	機器概要・用途	金額（千円）
紫外可視分光光度計	光を利用した分析装置であり、消毒用の次亜塩素酸やエタノールに含まれる混在物の有無を迅速かつ正確に分析・検出するもの。	10,494
3Dひずみ解析システム	カメラで撮影した画像から部品等の計測対象の歪み・変位を計測する装置であり、コロナ関連製品（自動水栓等）の温度や振動に対する耐久性を解析するもの。	6,710

(2) 感染防止対策のための研修棟トイレ等の改修

4,840千円

3 予算額

22,044千円

内 訳	・ 備品購入費	17,204千円
	・ 需用費（修繕費）	4,840千円

職業能力開発支援事業について

雇用労働政策課

1 目 的

コロナ禍で離職した方の再就職や、アフターコロナを見据えた県内企業の人材育成を支援するため、技術専門校が行う職業訓練に必要な設備機器を整備する。

2 概 要

訓練分野	訓練内容	整備する設備機器
メカトロ ニクス系	制御プログラムによる生産設備の開発や メンテナンスに関する知識・技能の習得	シーケンス制御盤 空気圧縮機 万能加工機
溶接系	溶接技術者に必要な知識・技能の習得	アーク溶接機 プラズマ切断機
建設系	ドローンによる航空測量及びデータ処理 技術や測量データによる図面作成技術の 習得	ドローン測量システム
	建設現場など高所作業時の墜落制止用器 具による安全対策技術の習得	墜落制止用器具
機械系	3次元CADデータを元にした製品製造 技術の習得	3Dプリンタ
自動車系	センシングや自動運転機能を備えた自動 車の整備・点検に関する知識・技能の習得	外部診断機

3 予算額

19,976千円

内 訳 (・備品購入費 18,875千円
・需用費(一般需用費) 1,101千円)

令和３年度 秋田県公営企業会計の補正予算について

公 営 企 業 課

１ 電気事業会計

給与改定及び実績見込みにより、収益的支出の人件費を３１，４１７千円減額する。

収 益 的 支 出 (単位：千円)

支 出

款	項	目	補 正 予 定 額	備 考
1 事 業 費			△ 31,417	
	1 営 業 費 用		△ 31,417	
		1 水 力 発 電 費	△ 14,629	人件費の補正
		2 送 電 費	△ 5,165	
		3 一 般 管 理 費	△ 11,623	

収 支 差

補 正 前	補正予定額	補 正 後
323,045	31,417	354,462

２ 工業用水道事業会計

給与改定及び実績見込みにより、収益的支出の人件費を４８０千円減額する。

収 益 的 支 出 (単位：千円)

支 出

款	項	目	補 正 予 定 額	備 考
1 事 業 費			△ 480	
	1 営 業 費 用		△ 480	
		1 維 持 管 理 費	△ 549	人件費の補正
		2 一 般 管 理 費	69	

収 支 差

補 正 前	補正予定額	補 正 後
9,726	480	10,206